

# 令和5年 WCS「コシヒカリ（移植）」栽培こよみ

令和5年4月  
氷見市農業技術者協議会

## ■栽培のポイント

- ①盆前に収穫するため、4月下旬に田植えを行う。
- ②円滑な収穫作業に向け、溝掘りと中干しを的確に実施
- ③いもち病をはじめとする病害虫、雑草の徹底防除
- ④地力維持に向け、収穫後に堆肥とケイ酸質資材を必ず施用

月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
生育		4/25~30 田植え			7/7 幼穂形成期	7/29 出穂期	8/12 乳熟期	土づくり
水管理		深水	浅水	中干し	間断かん水	落水		
主要作業	<ul style="list-style-type: none"> <li>○種子消毒(テクリードC水和剤)</li> <li>○浸種、催芽</li> <li>○育苗播種(箱当たり播種量120g)</li> <li>○育苗施薬剤を施用(ルーチンブライト箱粒剤)</li> <li>○栽植密度60株、必要苗箱数18箱/反</li> <li>○適正基肥量の遵守(別表①参照)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○適期に除草剤を処理(別表②参照)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○溝掘り、中干しを行い、地耐力を確保</li> <li>○適宜、除草剤を処理(別表②参照)</li> <li>○溝の手直しを行い、灌排水を促す</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○畦畔草刈の実施(カメムシ対策)</li> <li>○走り穂の頃から落水し、田面を固める</li> <li>○出穂〜穂揃期に斑点米カメムシ類防除を必ず実施(別表③参照)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○乳熟期以降に収穫</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○再生</li> <li>○多年生雑草(オモダカ等)の発生が多い場合は、後すみやかに、ラウンドアップによる雑草防除を行う。</li> <li>○反当たり牛糞堆肥1.5tとケイ酸質資材100kgを必ず施用し、耕起(稲ワラ持出分の補給、再生稲の処理)</li> </ul>		

■別表①【基肥】 ※土壌条件や生育状況により施肥量を加減する。

肥料名	窒素成分	施用量	施用窒素量
Jコートコシヒカリ2号	21% (うち、基肥8.4%、つなぎ肥12.6%)	25kg/10a	5.25kg/10a

■別表③【主要害虫防除】 ※必ず出穂〜穂揃期に防除を！

対象害虫	登録農薬名	使用時期
斑点米カメムシ類	スタークル粉剤DL	収穫7日前まで
	ダントツ粒剤	収穫7日前まで

※農薬の使用時期については、予め指導機関から確認する。

※本田でいもち病やその他の病害虫の発生が多く見られた場合は、早めに指導機関に相談する。

■別表②【雑草防除体系】

	登録農薬名	使用量(10a)	使用時期
1回目	エンペラー1 <sup>※</sup> 粒剤(豆つぶ剤)	1kg(250g)	移植時〜ル <sup>※</sup> エ3.0葉期 [移植後30日まで]
	キクトモ1 <sup>※</sup> 粒剤	1kg	移植時〜ル <sup>※</sup> エ2.5葉期 [移植後30日まで]
2回目	ツイゲキ1 <sup>※</sup> 粒剤(豆つぶ剤)	1kg(250g)	移植後14日(稲5葉期以降)〜ル <sup>※</sup> エ4葉期 [収穫60日前まで]
	クリンチャー1 <sup>※</sup> 粒剤	1kg	移植後7日〜ル <sup>※</sup> エ4.0葉期 [収穫30日前まで]
		1.5kg	移植後25日〜ル <sup>※</sup> エ5.0葉期 [収穫30日前まで]
	バサグラン粒剤	3~4kg	移植後15~50日 [収穫60日前まで]
	バサグラン液剤	500~700ml	移植後15~50日 [収穫50日前まで]
クリンチャーEW	100ml	移植後20日〜ル <sup>※</sup> エ6.0葉期 [収穫30日前まで]	